

税

のこと考えてみよう

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が共催で募集していた中学生の「税についての作文」で、猪本真央さん（桜木内中学校3年）の作品「私たちの”よい未来”をつくる税金」が秋田県納税貯蓄組合連合会会長賞、伊藤希彩さん（角館中学校2年）の作品「税と生きるためには」が大曲税務署長賞、田口野愛さん（生保内中学校1年）の作品「税金への感謝」が大曲地区税務団体協議会長賞、石郷岡紗さん（西明寺中学校2年）の作品「税金について」が仙北市長賞を受賞しましたので、全文（原文のまま）をご紹介します。

秋田県納税貯蓄組合連合会会長賞



猪本 真央さん
(桜木内中学校3年)

「私たちの”よい未来”をつくる税金」

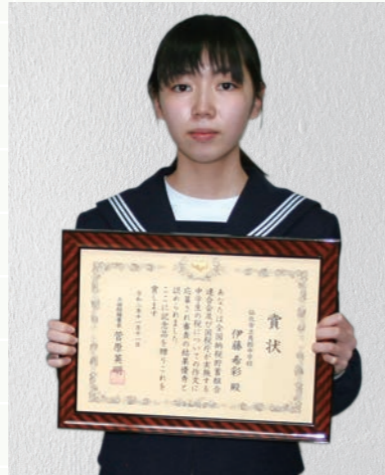
私はこれから生きていく間でどんなことが大切なのかと考えました。そうしたらこれからの人生ですっと付き合っていくかなくてはならない「税金」についても知っておこうと思いました。まず、税金とは国や地方公共団体がその必要な経費をまかなうため国民から強制的に徴収する金で、主に民間企業では提供

の難しい道路や橋などの公共財や、教育や福祉などの公共サービスを提供するそうです。このことから税金は、私たちが生活する中でとても大事な存在ということがわかりました。

税金なんて自分の手元からお金が減るだけだ、と思ってしまう。税金なんて自分の手元から

今回、税金について調べたり考えたりして税金の大切さを知り、理解することができました。税金が自分たちの”よい未来”を作っていることがわかり良かったです。

大曲税務署長賞



伊藤 希彩さん
(角館中学校2年)

「税と生きるためには」

私たちは日々、さまざまな税と関わり合って生きています。税には国に納める「国税」と地方に納める「地方税」とがあるが、二つを合わせるとその数は五十余りにもなる。多くの人に被害をもたらしているコロナウイルス、これにも税が関わっている。例えば、特別定額給付金だ。国民一人につき十万円が給付されると

いう制度だが、このお金も税金によって給付されている。税とは、社会を支える会費のようなもので警察や消防などの行政サービス、医療や教育などの社会の助け合いのための活動に役立てられている。

税のメリットの中で一番大きいのは一人の負担を減らしてみんなで協力しあえる点で

なんで税があるのだろう。生活の中で何度か考えた。一見、負担が増えて余計なものにも見えるが、私たちも知らないうちにこの税に助けられていたのだ。今回、税について調べたことで税に対する考え方が別の視点から見ることができた。これから、生活のどこかで税を見つけたら、何のための税なのか考えてみようと思う。

ほどです。また地域の事にも税金はたくさん使われています。私の住んでいる桜木内は人口減少と少子高齢化が進み、実際、私の中学校も全校生徒26人です。しかし私たちは中学生の活動を地域の人たちは全力で応援して支援してくれま。例えば夏休み中には小中合同で地域の方々と一緒に避難所体験をしました。市の防災課の方々のご指導で貴重な体験ができました。人数が少ないからこそ、学校と地域が一緒になり、県や市からの税金の補助も有効に使っていろいろな活動で盛り上がっています。

いた時期もあったけど今は、税金は災害などでいざという時に助かるし、結局は自分のためや周りの人のためになっていることなので税金はいい制度だなと思いました。それと、これからも私たちの支えとなってくれるように、税金は正しく使ってほしいと思いました。税金によって少しでもよい未来になっていくのが楽しみです。

大曲地区税務団体協議会長賞



田口 野愛さん
(生保内中学校 1年)

「税金への感謝」

私たちは、何気ない買い物でも税がプラスされ、値段が高くなってしまいます。正直、「消費税なんてついてこないでほしい。」と思っている人も少なくはないと思います。でももし、日本が税金のない国だったら、普段の生活などがどのように変わってしまうのでしょうか。

金のおかげなのです。全ての国民が税金を納めてくれているからです。もし税金がなければ全額自己負担となってしまいます。他にも、救急車や消防車を呼ばなければならぬ時は、自分で電話をすればすぐに来てくれます。

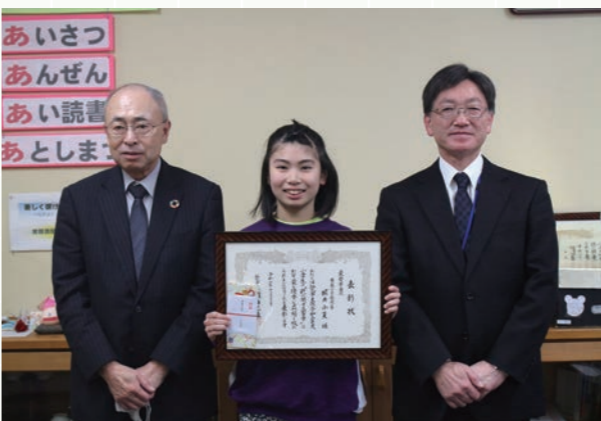
しかし、日本が税金のない国だったらこれにもお金が必要で、もちろんお金がなければかけてくれないことになってしまつたかもしれません。だから、税金があることにより多くの命が助けられています。税がなければ、

税

に関する
習字

仙北市主催の小学生の「税に関する習字」で、堀井小夏さん(角館小学校6年)の作品が最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞



右から角館小学校の浦山英一郎校長、最優秀賞を受賞した堀井小夏さん、倉橋副市長。

救急車などを呼べない人もいると思うので、助けられないことも多くなってしまうのかなと思います。

現在、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。日本でも感染者が日に日に増えている、一刻も早く終息することを願っている人がほとんどだと思います。このコロナウイルスの影響で、かなりの経済的なダメージを受けているところもあるようです。しかし、国民一人あたりに十万円を配布したり、会社単位などでも給付している、というニュースを見たりしました。これも全て税金から出ていると知って、すごいなと思いました。医療にも税金が使われていることにより、このウイルスと戦い、そして治っている人もいます。ですが、残念ながら最善を尽くしても亡くなってしまった人がいます。毎日毎日頑張っている医療従事者の方にはとても感謝しています。そして、これからの日本はどうな

るか分かりますが、もっと色々な事に税金が使われるのかなと思います。国民全員がくらしやすい国になってほしいです。

税金は、私たちがいつも使っている教科書にも使われています。そして、除雪などにも税金が使われているそうです。自分たちが今、すごしやすい環境であることは、税があるからこそなんだと、改めて実感しました。学校で使っている物なども無償で支給されていたりするので、大切に使うことを心がけていきたいです。

私は今まで税について色々学んできましたが、自分の知らない所で税金がたくさん使われているんだなと思い、税の大切さを知ることができました。まだ私は中学生なので税金を使う側です。自分が税金を納めていく時は、「これで誰かの役に立てる」と思いながら、嫌々言わずしっかりと納めていきたいです。

仙北市長賞



石郷岡 紗さん
(西明寺中学校 2年)

「税金について」

「税金って何。」という問われた時、私は笑ってごまかす事しかできなかつた。自分も税金について全く理解していなかったのだなと知った。

消費税が八%から十%に変わった。この時も私は、どうして上がったのか、どうして上げなければならなかったのか、不思議でたまらなかつた。調べてみると、

八%のままであると年金や医療などの社会保障を維持するための費用が足りなかつたからだと紹介していた。自分たち、国民でも社会に貢献できているのだなと身にしみて感じる事ができると思った。

しかし、調べていくと一つ気になる記事を見つけた。それは、「消費税が無い国」という記事だ。

中東の産油国のクウェートという国は、消費税がからない、さらには教育費も無料だと言う。詳しく見てみると、石油埋蔵量が世界七位の資源大国のため、税金を多く集めなくてもよいのだ。

私は、反対に消費税の高い国はどうなっているのだろうと疑問を抱いた。税金が高いことで有名な国、デンマークの消費税は、二十五%だった。また、所得税も高く、年収の約三分の一が税金で持ってかれていくことが分かった。高いと国民は充実しているのかなと思つたが、デンマークは「国民の幸福度ランキング」世界一位となつていた。興味を持った私は、さらに調べを進めた。答えが書かれてあった。簡単に言うとデンマークは、国民の負担が大きい分、国のサービスが充実しているそうだ。どの国にもたくさん工夫がなされていることを知った。私を含め、中学生は将

入選

おめでとう

いじります

最優秀賞以外の入選者は次のとおりです。

※氏名の表記は原文のまま掲載しています。(敬称略)

金賞

- ◆ 八柳りほ (西明寺小2年)
- ◆ 米澤美月 (角館小3年)
- ◆ 石川才稀 (神代小6年)

銀賞

- ◆ 山口あすみ (神代小1年)
- ◆ 八柳和華 (角館小3年)
- ◆ 村岡すみれ (角館小6年)

銅賞

- ◆ まさきかほ (神代小1年)
- ◆ 藤枝諒 (角館小2年)
- ◆ 村岡ひまり (角館小3年)
- ◆ 田口楽奈 (角館小4年)
- ◆ 山口海嘉 (神代小5年)
- ◆ 田中絢菜 (角館小6年)